

高砂地区 支え合いづくりニュース

特別号 西畠4丁目版

令和7年9月

高砂町介護予防・生活支援体制整備協議会

会長 藤谷剛

事務局:高砂市社会福祉協議会 地域福祉課

生活支援コーディネーター 前田

TEL:079-443-3725

西畠4丁目における困りごとに関する アンケート再調査結果が出ました

8月に70歳以上のひとり暮らし、75歳以上の二人暮らしの方を対象に困りごとに関するアンケートを再度実施しました。その調査結果がまとまりましたので報告します。

今回のアンケート結果をもとに、西畠4丁目に合った支え合いの方法を考えていきたいと思います。

調査へのご協力ありがとうございました。

(配布数)40件 (回収率)78%

困りごと内容	困っている	頼みたい
1.ふだんのゴミ出し	0	0
2.ゴミ出し(粗大ゴミ・缶・ビン 等)	0	0
3.細かい作業(新聞を束ねる・フタ開け 等)	0	0
4.書類等への記入	2	0
5.室内の簡単な修理や修繕	1	0
6.家具の移動	1	0
7.外出	0	0
8.蛍光灯、電球の交換	3	1
9.高い所の物を取る時 等	3	0
10.そうじ	0	0
11.食事の準備、後片付け	1	0
12.せんたく	0	0
13.敷地内の除草、剪定、枝打ち 等	4	3
14.花・植木への水やり	1	0
15.災害への対策(台風、水害、地震 等)	7	2
16.緊急避難時に同伴者がいない	5	0
17.スマホ・パソコンの使い方	5	1
18.時計、リモコン等の設定復旧	2	0
19.自治会行事への参加	3	1
20.安否確認	1	0
21.話し相手がない	2	0

困っていること
(回答が多かった項目)

- ・災害への対策
- ・緊急避難時同伴者がいない
- ・スマホ、パソコンの使い方
- ・敷地内の除草、剪定、枝打ち等
- ・高い所の物を取る時等

頼みたいこと
(回答が多かった項目)

- ・敷地内の除草、剪定、枝打ち等
- ・災害への対策
- ・蛍光灯、電球の交換
- ・スマホ、パソコンの使い方
- ・自治会行事への参加(付き添い)

裏面に具体的な意見を記載しています →

○具体的なご意見も寄せられました

- ・高砂駅前にスーパーがあった頃は便利だった。高齢になり、移動が困難で買い物などがとても不便に感じる。
- ・親族に認知症疑いがあり、記憶の錯乱などから生活リズムが不規則になって、夜中に探し物をすることもある。その延長で迷子になったこともあり、靴には名前・連絡先等を記入し、位置情報も確認できるようにしている。
- ・少し認知症があり、足が弱ってきている親族がいる。庭の木の剪定を今までしていたが、危険なため剪定を止めた。それから木の枝が放置状態で伸びているのが気になる。
- ・今はなんとかなっているが、急に困ったときが不安。
体力的に公園清掃などの参加が難しく、数年前から参加できていない。



西畠4丁目における支え合いに関する話し合いの様子(令和7年1月16日)

話し合いの場を設け、西畠4丁目の課題について意見交換を行いました。

- ・いきいき百歳体操やいきいきサロンなど既存の集まりの場で困りごとを聞き取ったらどうか
- ・以前まではこども会や祭りなどを通じて自治会内のつながりがあったが、今は希薄化しているなど

高砂町内その他地区の動きについて



他地区でもそれぞれの地域に合った支え合いの方法について話し合いが進んでいます。

令和5年度に西畠4丁目以外(西畠3丁目、浜田町、東宮町、高砂鉄筋団地、戎町)でも困りごと・担い手に関するアンケート調査を行いました。

当時から2年が経つと加齢に伴い、できていたことができなくなり、新たな生活課題が増えた方や反対に介護保険サービスの利用や家族の支援を受け、今は困っていない方もおられます。

○浜田町:2年前のアンケートをもとに困っておられる方とお手伝いできる方とのマッチングを進め、支え合い活動が始まろうとしています。

○高砂鉄筋団地:自治会で高齢者を対象にした行事を通じて、最近見かけない人がいないか確認し、孤立防止に努めています。普段から見守り活動が充実しているため、新たに支え合い活動は始めず、今の取り組みをさらに充実させていきたいという意向です。

住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らし続けられるように、これからも地域でできることをいっしょに考えていきます。(第2層 生活支援コーディネーター 前田)